

情報メディア学科 カリキュラムマトリクス(2025年度入学生)

- (1) 各種システムを開発することのできる専門能力  
 1) 数学・自然科学など理工系の専門基礎知識、およびソフトウェア・ハードウェア・システムに関する専門知識を持ち、情報社会のためのシステム開発に活用できる。〔理工系の基礎知識と専門的知識を活用する能力〕  
 2) 豊かな感性・論理的な思考力と柔軟な発想力や正確かつ論理的に情報を伝えるコミュニケーション能力を持ち、他者と協働して活動できる。〔豊かな感性・論理的な思考力と柔軟な発想力およびコミュニケーション能力〕  
 (2) 自然と人間が共生する、豊かで安心できる社会の実現に必要な人間力  
 3) 自然、社会、文化に対する広い人間的素養を持ち、地球的視野で物事を考え行動できる。〔自然、社会、文化に対する広い人間的素養〕  
 4) 責任感、倫理観、実行力を持ち自主的に判断し行動できる。〔責任感、倫理観、実行力〕  
 5) 新しいものごとの強い関心・興味を持ち、自主的・継続的に学習することができる。〔自主的・継続的に学習する能力〕
- A) 人とメディアの関わりや情報メディアが社会に与える影響を理解した上で、社会に果たすべき役割と責務を自覚し行動できる。  
 B) 情報メディア分野で提示される問題を解決するために、主体的・計画的・持続的に取り組むことができる。  
 C) 情報伝達を行う媒体である情報メディアに関する理論的・実践的なIT基礎技術を理解し、適応することができる。  
 D) メディア技術を利用することで、人間中心の考え方をもとした情報環境を作り出すことができる。  
 E) 自らの考えを伝達するため、情報メディアの特性を利用した効果的なプレゼンテーションおよびコミュニケーションを行うことができるとともに、他者と協働して活動することができる。

分野	分野到達目標	単位数	《DPを達成するために特に関連度が高い科目には◎、重要度の高い科目には○、DP達成を効果的に補助する科目には△》											目標累計 GP						
			DP 1)	DP 2)	DP 3)	DP 4)	DP 5)	DP A)	DP B)	DP C)	DP D)	DP E)								
人文社会科学	哲学基礎 社会学基礎 情報社会論 倫理学基礎 応用倫理学 日本の歴史 人類の歴史 文学基礎 観る文学 言語学基礎 日本国憲法 法学基礎 情報法学 経済学基礎 現代経済論 心理学基礎 人間発達と人権	2	△	△	◎	△														
		2	△	△	◎	△														
		2	△	△	◎	△														
		2	△	△	◎	△														
		2	△	△	◎	△														
		2	△	△	◎	△														
		2	△	△	◎	△														
		2	△	△	◎	△														
		2	△	△	◎	△														
		2	△	△	◎	△														
		2	△	△	◎	△														
		2	△	△	◎	△														
		2	△	△	◎	△														
		2	△	△	◎	△														
		外国語	グローバル化の時代に対応できる社会人の基礎的素養・能力として、幅広い視野の人文的素養、ならびに科学的知見に基づく思考・判断力と、言語の基礎的知識を活用した円滑なコミュニケーション力が発揮できるとともに、心身の健康を維持増進する方策を備えている。 また、社会を持続的に発展させる基礎的素養・能力として、物理学をはじめとする自然科学関連の基本的知識を理解・応用し、科学的知見に基づく思考・判断ができる。	1	◎	◎	◎	◎												
1	◎			◎	◎	◎														
2	◎			◎	◎	◎														
1	◎			◎	◎	◎														
1	◎			◎	◎	◎														
1	◎			◎	◎	◎														
1	◎			◎	◎	◎														
1	◎			◎	◎	◎														
1	◎			◎	◎	◎														
1	◎			◎	◎	◎														
健康・スポーツ科学	基礎スポーツ科学a 基礎スポーツ科学b 健康科学 スポーツ科学実習	1			◎															
		1			◎															
		2			◎															
		1			◎															
科学技術史	科学史 物理学基礎 物理現象の数理 力学 電磁気学 現代物理学入門 化学基礎 環境情報科学 地球科学基礎 地球環境 生命科学基礎 情報生命科学 視る自然科学	2	◎		◎						◎									
		2	◎		◎					◎										
		2	◎		◎					◎										
		2	◎		◎					◎										
		2	◎		◎					◎										
		2	◎		◎					◎										
		2	◎		◎					◎										
		2	◎		◎					◎										
		2	◎		◎					◎										
		2	◎		◎					◎										

分野	分野到達目標	単位数	DP 1)	DP 2)	DP 3)	DP 4)	DP 5)	DP A)	DP B)	DP C)	DP D)	DP E)	目標累計 GP
キャリア科目	自分自身の主体的な取り組みについて理解し、自律的な行動が取れる。さらに社会的な出来事への関心を高め、社会に対して自分がどの様に与えられるか考えることができる。そしてこれらを受け、自分自身の将来像を明確化した上で今後の勉学ならびに就職活動につなげることができる。	基礎ゼミナール	1		◎		◎	◎	◎				◎
		キャリアステップ	1		◎		◎	◎	◎				◎
		キャリアデザインⅠ	1		◎		◎	◎	◎				◎
		キャリアデザインⅡ	1		◎		◎	◎	◎				◎
		グローバルテクノロジー論	1		◎		◎	◎	◎				◎
		OIT概論	1		◎		◎	◎	◎				◎

分野	分野到達目標	授業科目名	単位数	DP 1)	DP 2)	DP 3)	DP 4)	DP 5)	DP A)	DP B)	DP C)	DP D)	DP E)	目標累計 GP	
数理科学	専門科目を学ぶ上で必要となる数学に関する基礎的知識を身につけたうえで、物理現象その他を数式で表現し計算することができる。	線形数学Ⅰ	2	◎								◎			
		線形数学Ⅱ	2	◎								◎			
		微積分Ⅰ	2	◎									◎		
		微積分Ⅱ	2	◎									◎		
		情報数学	2	◎									◎		
		周波数解析	2	◎									◎		
		微分方程式	2	◎									◎		
		グラフ理論	2	◎									◎		
		確率・統計	2	◎									◎		
		確率・統計	2	◎									◎		
専門基礎	コンピュータのハードウェア、ソフトウェアならびにネットワークの原理・仕組みを理解し、説明することができる。同時に、メディアシステムなどの情報システムを構築するために必要となる、データ構造やアルゴリズム、データベース、情報セキュリティ、ソフトウェア開発技法などの基礎的知識・技術を身につける。	コンピュータ入門	2	◎									◎		
		情報通信ネットワーク	2	◎										◎	
		プログラミング入門	2	◎										◎	
		オートマトンと形式言語	2	◎										◎	
		テクニカルライティング	2	◎		◎								◎	
		デジタル回路	2	◎										◎	
		情報処理基礎	2	◎										◎	
		計算機アーキテクチャ	2	◎										◎	
		データ構造とアルゴリズム	2	◎										◎	
		オペレーティングシステム	2	◎										◎	
基幹科目	メディアデータの特性を説明でき、コンピュータグラフィックス、画像処理、音声処理といったメディア情報処理の基本技術とヒューマンインタフェースや感性情報処理などの人間中心の設計理論・実用技法を理解し、説明できる。同時に、情報技術が社会に与える影響を理解したうえで、情報技術者としての倫理的・社会的責任について認識できる。	ソフトウェア工学Ⅰ	2	◎											
		情報セキュリティの基礎	2	◎											
		ソフトウェア工学Ⅱ	2	◎											
		プログラミング言語論	2	◎											
		コンピュータリテラシー	2	◎		◎									
		メディアデータ論	2	◎											
		コンピュータグラフィックス基礎	2	◎											
		音響処理	2	◎											
		人間情報学	2	◎											
		画像情報処理	2	◎											
応用科目	より実践的なメディア情報技術を習得するため、高度な画像情報処理、音声情報処理、コンピュータグラフィックス、メディアインタフェース、Web技術などの応用技術を理解し、説明できる。	コンピュータビジョン	2	◎											
		音声情報処理	2	◎											
		Webデザイン	2	◎											
		コンピュータグラフィックス応用	2	◎											
		感覚知覚心理学	2	◎											
		ユーザ実験計画法	2	◎											
		知能メディア処理	2	◎											
		情報科学実践演習(国際PBL)a	1	◎	◎	◎	◎								
		情報科学実践演習(国際PBL)b	1	◎	◎	◎	◎								
		情報科学実践研究(国内PBL)a	1	◎	◎	◎	◎								
演習科目	プログラミングの演習や、種々のメディアを使用した実験を通して、学んできた知識・技術を現実の問題に応用することができる。	アニメーション演習	1	◎											
		情報メディア入門	1	◎											
		C演習Ⅰ	3	◎											
		C演習Ⅱ	3	◎											
		オブジェクトプログラミング演習	3	◎											
		ソフトウェア工学演習	2	◎											
卒業研究	与えられた課題に対し目標、制約条件を整理した上で、情報技術を駆使して課題解決の方法を提案し、それを具現化する計画の立案ならびに継続的活動により計画内容を達成することができる。またその結果を文書化するとともに、プレゼンテーションをすることができる。	卒業研究	4	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		

(注1) ① 単位数の前に●を付した授業科目は必修科目  
 ② 単位数の前に■を付した授業科目は選択必修科目  
 (注2) 背景色が黄色の授業科目は主要授業科目であることを表す。  
 (※) 本学では、卒業研究に単位は設定しておらず、卒業要件として、その合格を課している。ただし、卒業研究がDP達成に果たす役割は大きく、DSシステム上のDP達成度算出の対象とするため、カリキュラム・マトリクス上では卒業研究を4単位と仮定している。